

東芝テクニカルサービスインターナショナル(株) 環境経営方針

東芝テクニカルサービスインターナショナル(株)は、「“かけがえのない地球環境”を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立ち、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。また、東芝エネルギーシステムズ(株)の目標である、『電気を「つくる、送る、貯める、賢く使う」を一貫して提供できる総合力と技術力を生かし、将来のエネルギーのあり方そのものをデザインする企業として、脱炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指し、持続可能な社会の実現をリードしていきます。』を共有し、東芝グループ会社として貢献します。

1. 環境への取り組みを経営の最重要課題のひとつとして位置づけ、経済と調和させた環境活動を推進します。そして、持続可能な開発目標(SDGs)に関連したグローバル課題の解決に貢献し、環境を重視した地球内企業として、健全で質の高い経営の実現を目指します。
2. 製品・システムの開発段階から保守サービスまで、ライフサイクルを通して地球温暖化 防止と環境負荷の低減に貢献します。
3. 環境マネジメントシステムの継続的改善を図り、環境パフォーマンスの向上を目指します。また、当社の事業活動に関わる環境側面について、生物多様性の保全を含む環境影響を評価し、環境負荷低減や汚染の予防に努めます。
4. 当社の環境側面に関する最新の法令、指針および自主基準などを順守します。また、リスクマネジメントを強化し、環境事故の未然防止に努めます。
5. 当社で働くまたは当社のために働くすべての人およびその家族の環境意識をより高め、全員で環境活動に取り組むとともに、地域・社会との協調を図り、積極的な情報開示とコミュニケーションを行います。

2019年6月1日